

学習田農業体験活動

飯田川小学校が実施する総合的な学習における学校農園活動の、5年生による「ふれあいマイ田んぼ」と銘打った学習田への農作業体験に参加しました。

〔田植え体験〕作業の説明を受け裸足で田んぼに入り、型枠で付けた目印に沿って苗を手植えました。田植え機の乗車体験も行いました。

〔稲刈り体験〕黄金色に稔った稲を、鎌を使って手刈りして束ねました。コンバインの乗車体験後、昔の農器具を使っての脱穀・もみ摺りなどを体験しました。

〔収穫感謝祭〕残念ながら参加出来ませんでした。農作業体験の発表や歌、感謝状を贈呈し、子供たちが収穫した米で作った「だまこ鍋」や「おにぎり」をごちそうになったそうです。

子供たちが農作業の難しさや収穫の喜びを感じながら、水やお米の大切さも知ってもらえれば、水土里ネットの重要性も理解していただけるかと思えます。



活動体制	
実施主体	飯田川小学校
後援・連携	J Aあきた湖東 老人クラブ 婦人会 水土里ネット飯田川
実施期間	5月14日、9月27日、11月21日
参加者	飯田川小学校（5年生、教職員、保護者）、老人クラブ他 70名
報道関連	湖畔時報社
活動実施年数	2年目
連絡先	〒018-1502 潟上市飯田川下虻川字八ツ口64 飯田川土地改良区 TEL. 018-877-3888
その他	

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット飯田川（川上 丈樹）

○活動の目標及び達成率	目標	農業水利施設や水土里ネットの役割と重要性のPR			
	達成率	50%			
○活動に対する評価	・参加が定着してきている。				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			④運動のPR	B	記念品等によるPR
①役職員・組合員の参加	C	参加が少ない	4. 運動の成果		
②後継者育成の工夫	D	指導の後継者がいない	①他組織との連携構築	B	発展まではしていない
2. 活動の意味性について			②地域住民等の理解	C	少しは理解されている
①基本理念の設定	B	取り組んでいる	③施設管理・地域資源の保全強化	C	少しは繋がっている
②地域の歴史等の伝承	B	手作業による	④運動の地域づくりへの関わり	C	一部のみ
③運動の先駆性	B	昔の農器具を使用	⑤農地・水・環境保全向上対策への貢献	B	貢献している
3. 運動の継続性・発展性			⑥地域農業振興への貢献	D	貢献まで至っていない
①運動の継続性	A	継続中	5. 今後の課題等について		
②運動の発展・拡大	C	広がりは薄い			
③運動の計画性	B	計画的に実施			

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他